

令和元年 9 月

袋井市議会定例会

一般質問通告内容

インターネットで本会議の中継（録画）放送を行っています。
Yahoo! や Google などの検索画面から
[袋井市議会](#)を検索して、御覧ください。

傍聴者の皆様へ

携帯電話はマナーモードへの切り替えをお願いいたします。

袋井市議会

一般質問通告議員

実施日	質問順	議員名	質問形式	ページ
9/10(火)午前	1	佐野 武次	一括	3
	2	岡本 幹男	一括	4
9/10(火)午後	3	戸塚 哲夫	一括	6
	4	寺田 守	一括	8
	5	木下 正	一問一答	9
9/11(水)午前	6	浅田 二郎	一問一答	10
	7	竹野 昇	一括	11
	8	伊藤 謙一	一問一答	14
9/11(水)午後	9	山田 貴子	一括	16
	10	鈴木 弘睦	一括	18
	11	村井 勝彦	一問一答	20
9/12(木)午前	12	高橋 美博	一問一答	21
	13	近藤 正美	一括	23
	14	森杉 典子	一括	25

質問順序	1	議席番号	3	質問者	佐野 武次	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
1	<p>地域住民を主体とする地域生活支援活動への対応</p> <p>介護予防・日常生活支援総合事業では、住民主体により生活支援を行う「訪問型サービスB」を位置付けているが、いまだに、本市では住民に対する啓発等の域を脱していない。そうした中で、市南部地域では、早期に住民主体の生活支援組織の確立が必要であるとの認識に立ち検討を進めているが、こうした動きに対する市の考えを伺う。</p> <p>(1) 介護予防・日常生活支援総合事業のうち「訪問型サービスB」について、本市での実施方針やその実現に向け、どのような具体的プランを考えているのか伺う。</p> <p>(2) 浅羽・笠原地域が、住民主体による生活支援活動を推進することを検討していることについて、どのように考えられているか伺う。</p> <p>(3) 生活支援組織の設立に伴い、設立に係る費用や運営費が必要となるが、市は組織の設立や運営にあたり、どのようなサポートを考えているか。特に、運営費については、継続的な支援が必要であるが、そのような考えはあるか伺う。</p>				市長	
2	<p>食品ロスへの対応</p> <p>本来食べられるにもかかわらず、廃棄されている「食品ロス」の削減については、本市でもさまざまな取り組みを行っているが、必ずしも十分とは言えない状況にある。SDGsでの位置付けや、食品ロスの削減に関する法律が施行されたところであるが、これまでの、本市における「食品ロス」対策への対応と今後における施策の展開方策について伺う。</p> <p>(1) 学校給食センターにおける給食の残食量は、近年、どのような傾向にあるか伺う。</p> <p>.....</p> <p>(2) 飲食店や食品製造の事業所並びに一般家庭等に対しては、これまで、どのような指導・啓発を行ってきたのか伺う。</p> <p>(3) 食品ロスの削減に関する法律の施行を受けて、今後、本市では、どのように対応していく考えか伺う。</p>				<p>教育長</p> <p>.....</p> <p>市長</p>	

質問順序	2	議席番号	13	質問者	岡本 幹男
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	<p>高校生の通学及び高齢者の日常生活の交通手段確保について 横須賀高校と袋井高校の生徒の通学の交通手段確保、及び高齢者の日常生活の交通手段確保について次の3点を伺う。</p> <p>(1) 横須賀高校の生徒の通学手段であった遠州鉄道の路線バス掛塚さなる台線が廃止予定となったことから、掛川市より自主運行バスを廃止路線上に福田まで延伸させる提案があったと聞く。検討の状況と、実現が困難な点があればそれをクリアさせる検討を行う予定はあるか伺う。</p> <p>(2) 袋井高校の生徒の通学手段も今年度より遠州鉄道路線バス法多線の廃止により制約された状況となっている。袋井市が運行する自主運行バスの路線や運行方法の見直しで、これに対応する検討はできないか。</p> <p>(3) 自分だけの時刻表「マイ時刻表」が協働まちづくり課によって作成された。これを活用し、高齢者の日常生活の交通手段確保をいかに図っていくか。</p>				市長
2	<p>空き家対策について 袋井市では平成31年3月「袋井市空家等対策計画」を策定し、深刻化が懸念される空き家対策を具体的に進めることとなった。そこでこれに関連し、以下の3点を伺う。</p> <p>(1) 「袋井市空家等対策協議会」のメンバーはどのような構成となり、その進め方はどのような方法をとっているか。</p> <p>(2) 空き家を不動産市場に登場させるためにどのような施策をとっていくか。</p> <p>(3) 危険な空き家の解体を促進させるため、藤枝市や磐田市で既に実施している固定資産税等の年数を限定した減免措置や解体費用の補助を検討する予定はないか。</p>				市長

質問順序	2	議席番号	13	質問者	岡本 幹男	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
3	子育て支援について 袋井市の子育て支援策について次の3点を伺う。 (1) 待機児童がいる家庭にどのようなフォローを実施しているか。 (2) 保育施設入園についての行政処分に対し行政不服審査法に基づく審査請求がなされた場合、速やかな審査が実施できる体制ができているか。 (3) 待機児童を抱える保護者や子育て中の保護者などが集える「子育てサロン活動」は情報交換などにとっても有効な場となっている。多くはシニアボランティアによる自主活動によって運営されているが、シニアボランティアの募集支援など活動支援を充実させることを検討できないか。				教育長	

質問順序	3	議席番号	7	質問者	戸塚 哲夫	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
1	<p>営農型太陽光発電（ソーラーシェアリング）の現状と課題について</p> <p>営農型太陽光発電について農水省が2013年にその取り扱いを明確にし、支柱の基礎部分を一時転用許可の対象とし、市内にも営農型太陽光発電が広がっている。荒廃農地の解消や電力の地域自給等の利点がある一方で、周辺農地での営農を心配する声も聞かれる。千葉大学では、営農型太陽光発電の実態をつかむため、昨年、農業委員会を対象にアンケート調査がされ、結果、農業委員会の懸念の強さが浮き彫りになった。営農型太陽光発電の鍵となるのは発電と適切な営農の両立です。今、現状と課題の整理が必要と考えます。</p> <p>(1) 営農型太陽光発電の仕組み、一時転用の条件は。</p> <p>(2) 市内の営農型太陽光発電の設置状況は。また、パネル下部で栽培されている作物は。</p> <p>(3) 営農型太陽光発電により、荒廃農地の再生や、農業経営の改善に役立った事例はあるか。</p> <p>(4) 営農型太陽光発電の取り組みは、農業者以外の多くの市民には、理解されていないのではないかと。今一度周知すべきと思うがどうか。</p>				市長	
2	<p>豪雨避難情報の運用について</p> <p>記録的な豪雨による水害や土砂崩れが全国各地で相次ぐ中、气象台だけに頼らず独自に「気象のプロ」や気象情報会社と契約する動きが広がっている。狭いエリアや短い時間での天候の悪化が予測できれば、より精度が高い避難情報の発表や的確な避難場所の設置につながり、市民の信頼も増します。</p> <p>(1) 避難勧告などの発令は市民の生命・安全を守るためのものであるが、行動を制約するものでもあり、適切な対象に適切なタイミングが必要で、判断が非常に難しい。市長の判断を支援する体制が必要。現在どのような体制になっているか。</p> <p>(2) 袋井市独自に気象情報会社と契約する考えは。</p> <p>(3) 市には、气象台との専用電話（ホットライン）はあるのか。</p>				市長	

質問順序	3	議席番号	7	質問者	戸塚 哲夫
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
3	マイナンバーカードの普及について マイナンバー制度は、運用開始から3年を経過しているが、カードの普及は1割強で、取得するメリットを実感できないのも要因のようです。本年5月「行政デジタル手続法」が成立、利用範囲を広げてカードの利便性を高めるため、具体的な取り組みが示されました。今後、カードの普及に積極的に取り組むべきと考えます。				市長
	(1) マイナンバーカードの現在の交付率は。				
	(2) 市民に「カードが便利で利点がある」と感じてもらうため、今までどのような取り組みをしてきたのか。今後、どう取り組んでいくのか。				
	(3) 普及率を高めるため、国・地方の全ての公務員に、マイナンバーカードを2019年度末までに取得してもらう考えであるが、政府の方針内容は。また、市はどう対応していくのか。				

質問順序	4	議席番号	8	質問者	寺田 守
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	久野城址公園の利活用 久野城址保存会は発足より40周年が経過し、昨年は各種記念行事が開催された。久野城址は平成9年に策定された「久野城址公園基本構想」を経て、平成19年度から3年間にかけて「久野城址公園整備事業」が進められ、現在に至っている。来年度より久野城址南遊水池計画が始まるが、久野城址公園の現状と課題、今後の利活用と整備方針について伺う。 (1) 眺望など久野城址の魅力を高めるための整備についてどのように考えているか。 (2) 史跡としての価値「残された本物」の維持、整備についてどのように取り組んでいくのか。 (3) 城址公園の利活用を広げ、掘り起こすため検討を考えるべきと思うがどうか。 (4) 城址公園の管理を省力化し、景観を維持する方法を調査研究すべきと思うがどうか。 (5) 課題を調査研究するため、市内の横断的ワーキンググループ、各種団体や専門家、地元などから成る組織を立ち上げる意向はないか。				教育長
2	ベトナム学生の研修受け入れ 去る7月、ベトナム社会主義共和国より同国の中央共産党青年団一行19名が当市を10日間にわたり研修に訪れ、市内の公共施設、企業、学校、神社仏閣などを視察して帰国した。これはある意味で現代の袋井版「東遊運動」でもある。今後の支援体制について伺う。 (1) 今回の研修受け入れは準備不足な面もあったが、研修生には大変好評であった。今後も市として協力していただけるか伺う。 (2) 研修事業の中で、学生達による英語による交流事業があり、市内中学・高校生との熱い対話があった。この活動の評価について伺う。				市長 教育長

質問順序	5	議席番号	4	質問者	木下 正
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	放課後児童クラブや障がい者施設等における災害時の対応について (1) それぞれの現場において防災対策をどのようにされているか、行政として把握はできているか。 (2) 把握できている場合あるいは今後把握できた場合、地域防災などとの連携はどのように考えているか。 (3) 函館市のマニュアル作成の手引きのようなものは必要であると考えるが見解を問う。 (4) 支援員や障がい者施設職員の方々は市外の方もおられるため、メローねっとの登録を現場に出向いて行うことも必要ではないかと考えるが見解を問う。				市長
2	袋井市みちプログラムの現状と今後の見通し (1) 客観的評価により、優先して整備をするべき路線はどこであったか。 (2) 利用しやすい交通網の構築（利便性の向上）は進んでいるか。 (3) 子どもや高齢者などの交通弱者が安全で快適に通行できる歩行者空間と自転車空間の創出は計画されているか。 (4) 道路整備に関し地域住民と協働とあるが、どのような協働を考えているか。 (5) 都市環状ルート of 整備とあるが、範囲はどのようなものか。 (6) 幹線道路の整備と生活道路の整備、市民ニーズに基づき今後優先的に行うべき対策はどちらと判断しているか。				市長

質問順序	6	議席番号	14	質問者	浅田 二郎
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	エアコン等の設置・使用に支援を この夏も、昨年につき酷暑となりました。熱中症対策など酷暑から市民の命を守ることが、市の重要な課題となっています。低所得者、高齢者などに対するエアコン設置・使用への支援が必要です。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 異常な暑さの状況、熱中症患者の状況は。 (2) エアコンは命を守る必需品では。 (3) 生活保護世帯のエアコン設置に不平等が。 (4) 高齢者等エアコン等購入助成制度を。 (5) 市営住宅への設置を。 (6) エアコン等が適切に使用されるよう生活保護世帯への「夏期手当」等の支援を。 				市長
2	平和行政の飛躍的前進で、核兵器廃絶・戦争のない世界を 「核兵器廃絶平和都市宣言」したまちとして、さらに平和行政を進め、被爆者に寄り添い、2020年（被爆75年）を核兵器廃絶への大きなステップとしよう。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 袋井市の平和行政の現状は。 (2) 草の根からの運動の大切さと「ヒバクシャ国際署名」への取り組み。 (3) 戦没者戦災死者追悼・平和祈願式について。 (4) 2020年、全市あげて平和都市宣言のまちらしい取り組みを。 				市長

質問順序	7	議席番号	5	質問者	竹野 昇
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	来年度予算編成基本方針について (1) 今年度で数十億円もの大型事業が終了する。来年度以降は市民の満足度を満たす＝市民生活の向上・安心安全に直結する予算、いわば市民目線、市民に寄り添う予算編成を望む。公共施設の長寿命化・上下水道管の更新など、これまでから計画してきた多額の経費が必要となる事業は別にして、もう新たな大型公共事業は無しにして、きめ細やかな予算編成を望むが、市長の来年度予算編成基本方針を問う。 (2) 市長の任期は残り2年。これまで投資的経費を賄うため、各課前年度よりマイナスシーリングで削減されてきたが、来年度は各課予算を前年度より削減することなく逆に必要に応じて増額する予算編成を望むが、市長の考えを問う。 (3) (2)と関連し、投資的経費捻出のためマイナスシーリングを3年行っているが、市民の満足度を高める予算基本方針を採用するなら、今年度で打ち切る措置が取れないか、市長の考えを問う。				市長
2	来年度予算具体的な重点項目について (1) 袋井市中部総合的治水対策 沖之川流域、蟹田川流域、小笠沢川流域が低い土地が広く分布し、過去にも被害が発生し、早急に減災・防災、安心して住める治水対策が必要とされる。最近の異常気象・集中豪雨で全国的に想定外の被害が発生しているが、3つの流域は8月下旬に九州北部を襲ったような豪雨が起きれば、相当な被害が予見される。来年度以降、深刻な被害が発生した場合、想定外でしと言ひ逃れが許されない。来年度予算編成に最重要重点事業に組みこむべきだと思うが、市長の考えを問う。				市長

質問順序	7	議席番号	5	質問者	竹野 昇
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》					答弁者
2	<p>(2) 福祉、特に障がい者福祉施策を充実させるため、重点事項と定め今年度を上回る予算編成ができないものか市長の考えを問う。</p> <p>ア 特別支援学校を卒業した重度の障がい者が、日中家庭でなく施設で過ごせるようになると、保護者の負担が減少し、仕事も継続できる。ところが、重度の障がい者を受け入れる施設の福祉車両（リフト付き車両）の維持管理費や運転手人件費不足の関係で、保護者が仕事を辞め、送り迎えをしなければならない事態が発生している。国や県は、施設を建てる時は助成するが、その後は事業者任せとなっている。袋井市として、障がい者に優しいまちづくりを重点施策とし、障がい者を支援する福祉事業所にそのための補助金支給ができるよう、来年度予算措置ができないか。</p> <p>イ 運転免許返納者の足の確保のため、三輪タイプ電動自転車やシニアカー購入に一定額の補助金支給ができないか。</p> <p>ウ 高額所得者を除き、80歳以上の高齢者（免許返納者で特別な事情がある場合は76歳以上）にタクシー利用補助券を支給できないか。</p> <p>.....</p> <p>(3) 子育て支援、教育の充実について</p> <p>ア 今年度多くの待機児童を出した反省から、来年度は待機児童ゼロにすべきだと考える。市として来年度待機児童ゼロ対策を考えているか。子育て支援に熱心な袋井市を打ち出すため、待機児童ゼロを実現するためには2歳児を公立幼稚園で預かれるようにしたらどうかと考えるが、当局の考えを問う。</p> <p>イ 袋井市内8つの小・中学校では、部活動などの教育費を賄うため、地域連合自治会から「教育振興会」「学校後援会」会計に助成金をいただいている。ある高南地域の住民から、税金のように住民が義務教育に関わる教育費を負担するのはおかしい、市が対策を講じるべきではとの訴えがあった。旧浅羽町では止めている。静岡県内でも止めている市町が多い。学校への予算を増やして、自治会の援助がなくても教育活動が支障なくできるよう教育予算を充実すべきだと考えるが、当局の見解を問う。</p>				<p>市長</p> <p>.....</p> <p>教育長</p>

質問順序	7	議席番号	5	質問者	竹野 昇	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
3	中学生未来会議での政策提言を活かすために 袋井南中学校の生徒が「袋井市令和改革～魅力ある街へ～」をテーマに、①市内要所へのレンタサイクル設置、②レンタサイクルを活用したサイクリングコース、の提案をしてくれました。若者の提案を活かすことが、袋井市の活性化や進学などで袋井市を離れた若者がUターンして袋井市に住むことにもつながると確信します。具体的な2つの提案を実現するために、サイクリング道の整備や案内掲示設置、生徒が発見した魅力的なお店の協力、観光協会や市内のサイクリング愛好家団体や自転車販売店との相談・協議・協力が必要と思われます。本市には袋井市自転車を活かしたまちづくりの指針があるが、その取組状況を伺う。中学生の提言を活かすため、検討チームを立ち上げることを提案する。				市長	
4	その他予算措置が必要な事項について (1) 市職員の多忙化が解消していない。土日出勤して業務をこなさざるを得ない職員もいる。課により非正規職員を正規化してフルタイムで働いてもらえるようにすれば（必要に応じて残業も）、市民の期待に応じて業務をもっと充実させることができるという声もある。市職員の約半分が非正規職員である現状を計画的に是正すべきであると考えている。来年度是正に向けて、必要な部署の非正規職員を正規化する措置が取れないものか。 (2) 来年度から嘱託職員などが、フルタイム会計年度任用職員・パートタイム会計年度任用職員となる。これを機会に待遇の改善をお願いしたい。具体的には時給900円を1,000円以上に、資格が必要な職員は現行よりアップとなるよう改善を望むが、当局の考えを問う。 (3) 市役所本庁舎1、2階トイレを清掃員がきれいにしてくれているが、臭いが酷い。消臭剤では根本的解消にならない。特に1階は市の顔である。改修のため来年度予算に事業化してもらいたい。 (4) 2階から4階までの防火扉に人一人がくぐれる程度の戸を付け、職員が土日仕事をする際、一般の市民が執務室に入れないようにすべきだと思いが、当局の考えを問う。 (5) 土日閉庁の時でも市民が1階トイレを利用している。市民サービスの観点からそのことは良いと思うが、休日受付職員にとり名前を記入せず入庁する市民への対応が負担となっている。近年何が起きるか分からない世相である。防犯上、外に公衆トイレを設置したらどうか。				市長	

質問順序	8	議席番号	12	質問者	伊藤 謙一	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一問一答》	答弁者
1	<p>ふるさと納税について</p> <p>本年6月に、ふるさと納税の制度改正が行われた。自治体間競争及び返礼品合戦となっていた同制度であるが、まさに岐路を迎えている。引き続き、同制度を行っている本市に対して、提言も含め以下を質問する。</p> <p>(1) 以前の一般質問において、自治体間競争及び返礼品合戦を招いた前制度のふるさと納税に関して危惧を示した原田市長であるが、今回の制度改正の結果をどのように感じているか。また、今後の市の同制度における取り組みの方向性を伺う。</p> <p>(2) 昨年度の本市の寄付総額と実質的な経費及び、市民税の税額控除として流出した金額を伺う。また、県内の他市と比較した場合の本市の現況と課題を伺う。</p> <p>(3) 市の特徴ある施策として、草刈り代行サービスや、墓所ポイント、空き家解体ポイントがあるが、その実績を伺う。</p> <p>(4) 制度改正により、返礼品の調達額は寄付額の30%以下にすることや地場産品に限定されたが、本市の同施策に関して影響を伺う。また、他市においてはふるさと納税の係を作り、専門で調達額を抑えるよう民間と価格交渉する取り組みや、新たな商品の開発に取り組む積極的な事例も見受けられるが、本市はどうか。</p> <p>(5) 現在、返礼品の内容に関しても、以前に比べ変化が見える。例えば、自然災害に対しての義援金としてや、寄付金以外に使用しない物や余剰電力を寄付いただく等の取り組みが始まっている。新たな形での自治体間競争は既に行われているが、本市の取り組みは。</p> <p>(6) 中四国地方の9県は、災害発生時に被災した県向けの寄付について、他県が受付を代行できる制度を9月1日から始める。被災県の要請などに基づき、応援する側の県はふるさと納税のポータルサイトに特設ページを設ける。寄付金の受付や寄付証明書の発行といった業務を周辺県で分担し、被災県の負担軽減につなげるが、静岡県と他市町と連携した仕組みづくりが必要ではないか。</p> <p>(7) 本市のふるさと納税をPRする広報や周知をもっとする必要がないか。</p>				市長	

質問順序	8	議席番号	12	質問者	伊藤 謙一
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
2	<p>茶業振興について</p> <p>農水省統計によると2019年、本県の一番茶及び荒茶生産量は、前年比13%減と過去最低基準であった。1キロあたりの平均取引単価も前年比4.2%安と2年連続で過去最低を更新し、二番茶においても同様の傾向であることから、本市の主要農産物であるお茶に対して、現状と今後の市の政策を伺う。</p> <p>(1) 本市における今年のお茶の状況をどのように捉えているか。一番茶及び二番茶の現況と、茶業従事者ごとのヒアリング結果は。</p> <p>(2) 過去最低水準である生産量と価格をどのように分析するか。また、その背景は。</p> <p>(3) 作れば売れる時代は終わったと感じている。消費ターゲット及び販路を意識した生産・流通体制の確立と、消費拡大の施策や戦略が必要だと感じるが、本市の近年の取り組みと具体的な今後の施策を伺う。</p> <p>(4) 耕作放棄地対策として、転換作物の検討もすべきと考えるがどうか伺う。</p> <p>(5) 昨年的一般質問にも挙げられた、茶ピアの利活用についてその後の進捗を伺う。</p>				市長

質問順序	9	議席番号	10	質問者	山田 貴子	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
1	<p>「書のまちふくろい」としてのまちおこし ～袋井市ゆかりのすごい書家を未来に伝えよう～</p> <p>平安時代の空海・嵯峨天皇と共に日本三筆の一人である、橘逸勢の供養塔が上山梨の用福寺にあり、今年も11月16日(土)に供養祭が執り行われ、袋井高校書道部によるパフォーマンスが予定されています。また、袋井市は書道界初の日本芸術院賞を受賞した川村驥山先生の出身地であり、さらに、現在国内外で活躍する現代書家の大杉弘子氏がおおり、「書のまちふくろい」と呼ぶにふさわしく、書を起爆剤とした袋井市のまちおこしができないかお伺いします。</p> <p>(1) 袋井にゆかりのある橘逸勢について、市は昭和62年5月11日に袋井市指定有形民俗文化財に指定しましたが、その後どのように支援していますか。</p> <p>(2) 毎年、上山梨の用福寺で橘逸勢顕彰会のもと供養祭が執り行われています。ここ3年ほど袋井高等学校書道部のパフォーマンスが行われておりますが、逸勢と当市とのゆかりを知っていただく良い機会となっております。今以上により多くの人たちに知っていただくために、市として全国に発信できるのではと思いますが、市の考えをお伺いします。</p> <p>(3) 逸勢の終焉の地として、三ヶ日もあげられています。今は亡き元副市長の吉岡伸夫氏も研究していましたが、今年は静岡大学名誉教授の原秀三郎氏をお招きして「袋井説と三ヶ日説、ついに決着？」と題して講演を予定しています。市としても逸勢の終焉について研究するプロジェクト等を作ってまちおこしの一環にしてほしいのですが、どのように考えていますか。</p> <p>(4) 平安時代に空海らとともに唐に渡った橘逸勢。明治時代、油山寺境内に生まれ郷土の偉人と言われる川村驥山。彼らの残した書は、時代を超えて、今なお光り輝いています。彼らの書への想いを、ゆかりの地である袋井市民が未来につなげていかなければなりません。それらを踏まえて「書のまちふくろい」を継承してはどうでしょうか。市の考えをお伺いします。</p> <p>(5) 今後も「書のまちふくろい」として活かす活動を続けるにあたっての市の考えをお伺いします。</p>				教育長	

質問順序	9	議席番号	10	質問者	山田 貴子	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
2	<p>平成31年度全国学力・学習状況調査の結果は</p> <p>文部科学省は7月31日、全国の小学6年生と中学3年生を対象として4月に実施した平成31年度の全国学力・学習状況調査の結果を公表しました。当市の結果についてお伺いします。この時期になると毎年私は質問していますが、順位に一喜一憂する性質ではないこと、「義務教育の機会均等と水準の維持」が目的だということを前提でお伺いします。</p> <p>(1) 掛川市教育委員会は、8月7日に結果を発表しました。御前崎市は、8月16日の市議会全員協議会で結果が報告されましたが、当市の結果はどうでしたか。</p> <p>(2) 初めて実施した中3英語「読む」「聞く」「話す」「書く」特にパソコンを活用した「話す」はどうでしたか。</p> <p>(3) 学習状況調査はどうでしたか。</p> <p>(4) 来年度に向けて今年度の結果をどのように活かしますか。</p>				教育長	
3	<p>夜間中学の必要性は</p> <p>当市は外国人や、不登校、引きこもりなどで十分な義務教育を受けられなかった人の学び直しに対応する「夜間中学」が必要ではないか。市の考えを伺う。</p>				教育長	

質問順序	10	議席番号	6	質問者	鈴木 弘睦
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	生涯現役促進地域連携事業について				市長
	<p>(1) 平成29年度からの生涯現役促進地域連携協議会の取組状況を伺う。</p> <p>(2) 最終年度となる本年度の事業の進捗状況を伺う。</p>				
2	明るい選挙				市長
	<p>(1) 期日前投票所について</p> <p>ア 期日前投票所は投票率や投票者数向上に寄与しているか伺う。</p> <p>イ 本年行われた選挙において期日前投票の状況を伺う。</p> <p>ウ 期日前投票を執り行う目的を伺う。</p> <p>(2) 開票事務について</p> <p>ア 開票事務にかかる時間の状況について伺う。</p> <p>(3) 投票率について</p> <p>ア 向上を促すための活動について伺う。</p> <p>イ 向上に向けた選挙管理委員会内部での議論について伺う。</p> <p>(4) 公職選挙法について</p> <p>ア 公務員が選挙運動とみなされない、許される範囲について伺う。</p>				

質問順序	10	議席番号	6	質問者	鈴木 弘睦
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》					答弁者
3	少子化における、子ども会体制の現状と課題について <p>(1) 単位子ども会の活動について</p> <p>ア 袋井市は子ども会活動の意義をどのように捉えているのか伺う。</p> <p>イ 子ども会の活動の現状と課題をどのように捉えているのか伺う。</p> <p>(2) 子ども会育成連合会活動について</p> <p>ア 袋井市は子ども会育成連合会活動の意義をどのように捉えているのか伺う。</p> <p>イ 子ども会育成連合会と教育部局との取り組みの現状について伺う。</p> <p>ウ 連合会へ加入する単位子ども会の減少の要因をどのように捉えているのか伺う。</p>				教育長

質問順序	11	議席番号	2	質問者	村井 勝彦
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	学校教育におけるHSC（人一倍敏感な子ども）の現状と対応 HSCは感覚が過敏であることや、大きな変化に対応しづらいなど、発達障害と表面上よく似たところがあり対応が難しい面もあるが、保護者と教育現場が子どもの気持ちに向き合い対応する必要がある。 (1) 現状においてHSCと判断される幼児、児童・生徒の実態はどうか。 (2) HSCを把握するための調査等は実施しているか。 (3) HSCについて保護者からの相談等の状況はどうか。 (4) HSCと判断された場合、どのような対応をしているか。 (5) HSCの専門知識を持つカウンセラー等の配置状況はどうか。				教育長
2	学校の体育活動中等における紫外線対策 猛暑の中で行われる学校の体育活動等については、紫外線対策の重要性が指摘されている。 (1) 学校の体育活動中等における紫外線によるリスクをどのように捉え、どのような対応をしているか。 (2) 学校のプール授業等において、日焼け止めクリームの使用はどのように指導しているか。 (3) 幼稚園やこども園におけるプール活動や屋外活動における紫外線対策はどのように対応しているか。 (4) プール授業等における紫外線対策に関する学校の対応等について、保護者からの相談や問い合わせの状況はどうか。				教育長

質問順序	12	議席番号	15	質問者	高橋 美博
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	総務省「自治体戦略2040構想」について 総務省の「自治体戦略2040構想研究会」は第1次報告（2018.4）第2次報告（2018.7）を発表、この実現を図るとして第32次地方制度調査会と同専門小委員会が設置され、議論されている。今後、この報告書は自治体運営に大きな影響を与えることが必至である。市長の所見を伺う。 (1) 市長は「自治体戦略2040構想」どう捉えているか。 (2) 人口減少についての認識はどうか。 (3) AIが職員に代わり得るか。 (4) スマート自治体の構築について ア 実証実験・コンソーシアムへの参加についての考えはどうか。 イ マイナンバーカードの活用推進の取り組みに問題ないか。 (5) 窓口業務の民間委託についての考えはどうか。 (6) 構想実現が地域の発展につながるか。				市長
2	敷地川堤防の見取地区の改修促進について 近年、集中豪雨が各地で多発しており、天井川である敷地川は、ひとたび越水、決壊などが発生すれば、甚大な被害が予測される。特に未整備で残された見取地区は危険性が高く、早期の改修が必要と考える。 (1) 危険性の認識はどうか。 (2) 今後の改修工事実施の見通しはどうか。				市長

質問順序	12	議席番号	15	質問者	高橋 美博	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一問一答》	答弁者
3	川会地区明治橋の架け替え工事について 明治橋は橋脚に橋桁を架けた構造で、大きな地震が来れば落下は免れない。改築はみつかわ夢の丘公園建設に当たっての約束事項となっている。住民は早期の工事着手を望んでいるが、遅々として進んでいない。 (1) 今後の工事実施予定、着工の見通しはどうか。 (2) 工事費用見込み額及び市の財政負担の見込みはどうか。				市長	

質問順序	13	議席番号	11	質問者	近藤 正美
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	2040年からのバックキャストによるまちづくりについて 少子高齢化や人口減少などに加えて高度な情報化が進む中、2025年問題の先に高齢者人口がピークを迎え内政上の危機とされる2040年が迫り来る。今から従来の認識を越えた社会環境の変化への的確な対応が必要である。ICT（情報通信技術）やデータを生かしたスマート社会の実現にどう立ち向かうか、行政が果たす役割は大変大きい。 (1) 大規模災害を想定して、ICTを活用した防災対策をどのように推進するか。				市長
2	日本一健康文化都市に向けたまちづくりの今後のあり方について 昨年10月、本市は「第8回健康都市連合国際大会」で、これまで25年間の優れた健康都市の取り組みに対し、世界保健機関（WHO）からの賞など5部門で受賞した。今後さらに健康、食、運動を通して安全安心に暮らせる地域社会を目指し、人生100年時代を見据えた仕組み作りが期待される。 (1) 日本一健康文化都市への取組成果であるこれらの受賞を糧に、今後さらにどのような形で推進していくか。 (2) 医療（退院）から在宅（介護）への切れ目のない橋渡しに、行政は医療機関、支援専門員、看護・介護事業所などとどのように連携を図っていくか。 (3) 介護分野の負担軽減対策として、今後ICT化をどのように進めていくか。				市長

質問順序	13	議席番号	11	質問者	近藤 正美	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
3	<p>浅羽支所の今後の利活用計画について</p> <p>現在の総合センター建物へ（仮称）袋井市教育会館を新設して市役所本庁舎から教育部を移転する計画に伴い、現在、浅羽支所で業務を行っている水道課・下水道課を本庁舎へ移転することになるが、その場合、支所の空きとなるスペースを今後どのように有効利活用する考えか。</p> <p>(1) 浅羽支所の今後の利活用に関する庁内検討の進捗状況はどうか。</p> <p>(2) 地域の歴史文化ゾーンの特性を活かして美術館や児童館など文化的施設としての活用や、南部地域の生活・福祉の活動拠点とする案を挙げるがいかがか。</p> <p>(3) メロープラザと連携して「こども科学会議」「こども歴史会議」「こども国際交流大会」など小中学生向けの大会会場に活用したらどうか。</p>				市長	

質問順序	14	議席番号	1	質問者	森杉 典子
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	健康寿命の延伸の取り組みについて 本市の「健康文化都市」への取り組みが、昨年、国際機関から高い評価を受けました。さらなる健康寿命の延伸の取り組みを伺います。 (1) 認知症施策の推進の取り組み ア 本市の認知症予防の具体的な取り組み内容と、その効果を伺います。 イ 本市の若年性認知症の支援の取り組みと若年性認知症支援コーディネーターの利用状況を伺います。 ウ ピアサポート活動支援事業の取り組みを伺います。 (2) 糖尿病予防対策の状況 ア 本市の糖尿病予防対策の取り組みを伺います。 イ 本市での「野菜いっぱい運動」の取り組みを伺います。				市長
2	がん患者への支援について (1) 静岡県では本年6月「若年がん患者等支援事業費助成」が創設されました。本市の取り組みを伺います。 (2) 「がん相談支援センター」の設置状況と支援内容について伺います。 (3) がん患者によるピアサポートの現状と効果を伺います。				市長
3	道路冠水時における事故防止対策について 近年、台風による大雨のほか、頻発する集中豪雨により、アンダーパスが冠水し、通行車両が立ち往生する事故が、全国で発生しています。 (1) 本市のアンダーパスの事故防止の対応を伺います。 (2) 災害時にメローねっと等に道路冠水の情報を配信可能か伺います。				市長